

平成25年度 第2回 教育・研修検討委員会 議事録

日時	2014-2-5 13:00～15:00	作成	横山	前回	2013-12-6 10:30-12:00
場所	事務局会議室((株)アイデック 7階)				
出席者	出席 : 富田委員長、森副委員長、田吹委員、鈴木委員、榎本委員、今川委員、小西委員、横山委員 欠席 : なし (順不同、敬称略)				
議事	1. 第1回繊維状物質計測に係る技術研修会について 2. その他				

議 事 内 容

1. 前回議事録の内容について

富田委員長より前回議事録(平成25年度第1回)の内容について、各委員の承認済みであることが確認された。

2. 富田委員長より、「第1回繊維状物質研究セミナー」の参加者数について確認が行われ、横山委員より、予定50名に対し48名(講演者含む)であったことが報告された。

反省点として、①開催案内送付後の申込み者数の集計結果が各委員に配信されなかったため、さらに参加者を募るように動くかどうかの判断が遅れた。②プロジェクター(アイデックより借用)の鮮明度が悪く、スライドが見えにくかった。③会場費用が高かった。が挙げられた。

今後開催する行事の対応として、①申込み者数の途中状況は、今後、全委員に配信する。②プロジェクターは、鈴木委員から借用するか、新しく購入するかを検討し、プロジェクター用延長ケーブルは小西委員から寄贈される。③会場は、費用の安いところを事務局で検討することとなり、候補として、建築会館、鉄鋼会館等が挙げられた。

3. 第1回繊維状物質計測に係る技術研修会について

技術研修会の内容について、小西委員より、総会(昨年12月に開催)において、第2期事業計画(総会資料)で本委員会を含め6つの委員会の設置が承認されていることから、各委員会と連携をとりながらの方が良いこと、また、JISの改定も未定であることから、研修会の内容を再検討した方が良いとの提案がなされ、再検討することとなった。次の提案があった。

①アスベストに限らず他の繊維の分析法も入れてはどうか。偏光顕微鏡での定性がどの程度可能か等。

②環境省、厚労省、国交省のマニュアル改定に合わせて講習を行ってはどうか。

講習内容：講義講習を日測協主催とし技術実習を本協会主催で行う。

1部 マニュアルの改正内容の説明(日測協主催、本協会共催)

2部 技術、実習(本協会主催、日測協共催)

3部 製品中アスベスト分析 改正JISA1484(日測協主催、本協会共催)

③技術研修会(案)の内容を少し変える。ピーター・クック氏を実際に招聘できるの

かを再検討する。招聘費用を鈴木委員が調査することとなった。

②案の日測協と共催する方向で、小西委員、鈴木委員が内容を詰め、今月中に各委員にメールで配信することとなった。計測技術等調査委員会との分担についても、協議することとなった。開催時期は、下記の仮予定とし、会場を探すこととなった。会場は、事務局で探してみるが、各委員からも良い会場候補があったら連絡をすることとなった。

開催時期 5月21日 10:00～23日

#### 4. その他

##### ①8月の学術集会について

8月1日を予定していたが、富田委員長の都合がつかず、**8月6日(水)～7日(木)**(2日間)に変更することとなった。

展示場所を確保し、製品説明を行えるようにしてはとの提案もあり、学術集会の演題、募集も含め、次回(5月16日)の委員会で話し合うこととなった。

また、機関紙編集委員会で創刊号を4月中に発行するように進めているが、学術集会の募集要項を載せられるように、事務局から原案を2月中に各委員に配信することとなった。

##### ②事務局の委託について

小西委員より、各委員会での議事録の作成、召集案内等の業務を専任で行えるパートタイマーを探すようにしたいとの報告があった。

##### ③機関誌編集委員会の報告

1月29日に開催された機関紙編集委員会に出席の小西委員より、以下の報告がなされた。

創刊号を4月に発行するように進めている。原著、短報の掲載はせず、技術情報、学術集会の抄録転載等を入れた内容となる予定である。

第1回繊維状物質研究セミナー(1月31日開催)での山崎先生、東先生の講演内容は、第2回発行分に掲載する予定である。

以上

#### 【配布資料】

- ・ 第1回教育・研修検討委員会 議事録
- ・ 第2回繊維状物質計測に係る技術研修会(案)
- ・ 第2期事業計画(案)・・・総会資料抜粋